

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和5年4～6月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	60事業所
3. 回答率	48.0%
4. 業種別内訳	
製造業	13事業所
建設業	2事業所
卸売業	4事業所
小売業	25事業所
サービス業	16事業所
合計	60事業所

5. 実施時期

令和5年 6月上旬～8月上旬

6. 調査対象期間

令和5年 4月から6月（第1四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

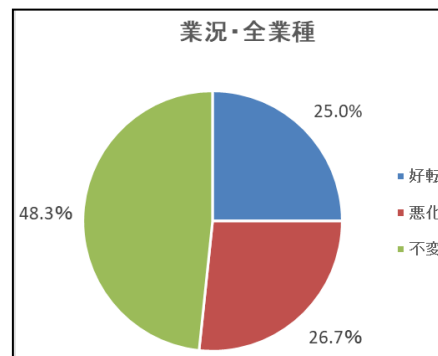
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

II. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和4年4月～6月）のD I値は▲1.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は25.0%、
悪化したと回答した事業所が26.7%、
変わらないと回答した事業所は48.3%だった。



令和5年4～6月の前年同期比について、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことによる各種行事の再開により、売上が増加し、経済活動も戻りつつあるとの意見があった。

しかし、仕入価格の上昇による「採算性が悪化した」と回答した事業者が多く、前回の調査に引き続き、価格転嫁について苦慮する事業者が依然として多い。

	R4. 4～6 前年同期比	R5. 1～3 前期比	R5. 7～9 見通し
全業種	▲1.7	▲3.3	5.0
製造業	0.0	0.0	23.1
建設業	50.0	50.0	50.0
卸売業	0.0	▲25.0	▲25.0
小売業	0.0	0.0	4.0
サービス業	▲12.5	▲12.5	▲6.3

来期見通し（令和5年7～9月）のD I値については、5.0ポイント。

製造業・小売業については好転の見込み。

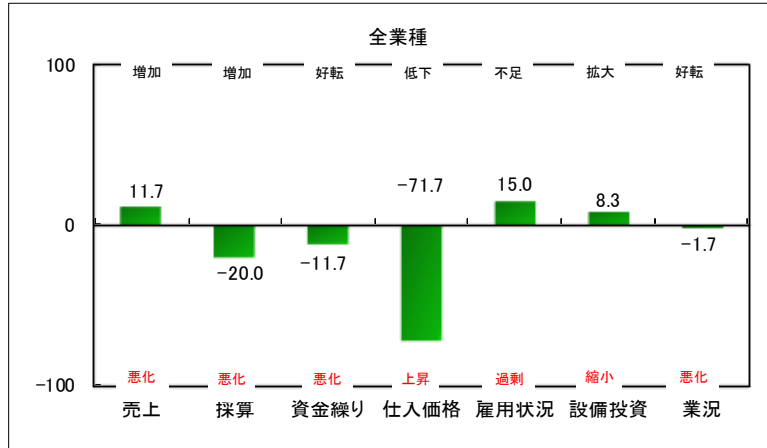
各業種で、売上の増加を見込む回答はあるものの、原材料高騰による仕入価格の上昇を懸念する声が多かった。

少数の回答ではあるが、設備投資を検討している事業者があり、前向きな動きが窺える。

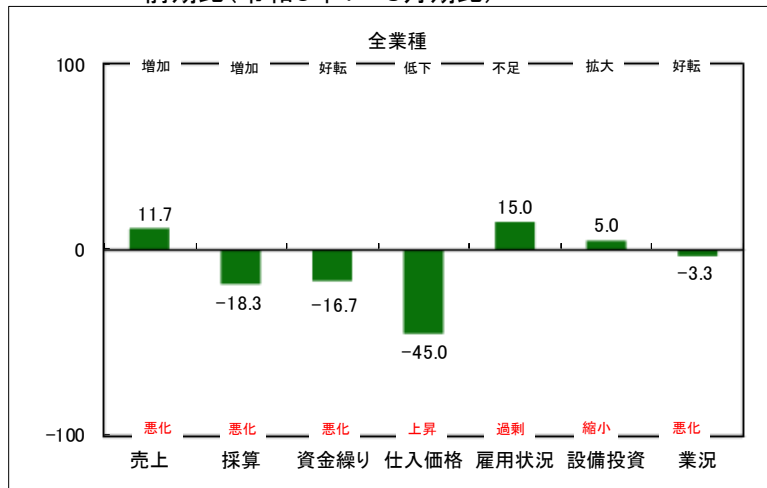
市内景気動向

全業種

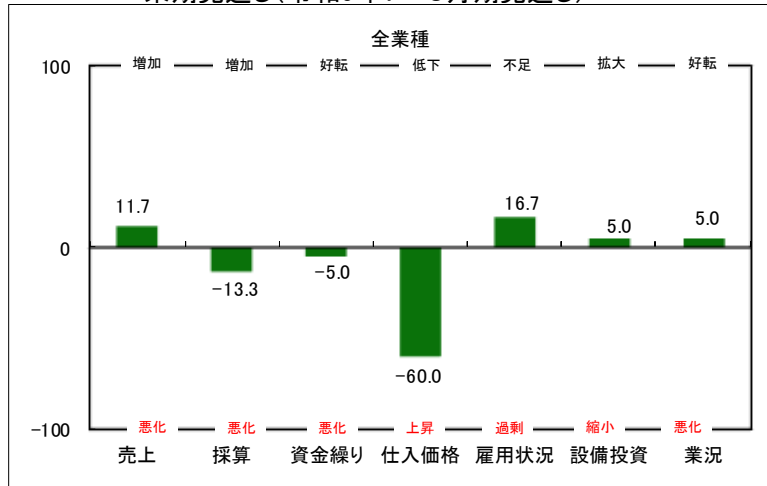
前年同期比(令和4年4～6月期比)



前期比(令和5年1～3月期比)



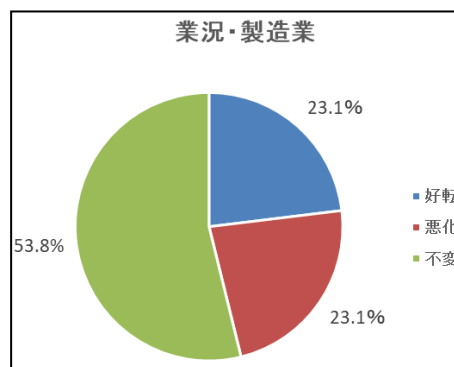
来期見通し(令和5年7～9月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、23.1%、
悪化したと回答した事業所が23.1%、
変わらないと回答した事業所が53.8%だった。



来期見通しD I 値についても23.1ポイントで、
好転の見通しとなっている。

○主な意見

【屋外広告業】

・「仕入価格の高騰が続いているが、前年同期比で売上は伸びており、採算は好転。」

【半導体製造装置用部品加工業】

・「半導体部品の受注激減により、業況は良くない。」

【看板製造業】

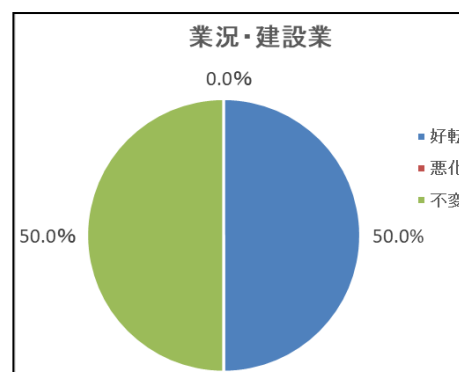
・「新規案件が数件あり、売上は上がったが、原材料高騰により、採算は良くない。」

【食料品製造業】

・「新しく道の駅との取引が始まり売り上げは上がったものの仕入れ値の断続的な上昇や現金取引よりも卸販売が多くなっていることにより資金繰りのバランス悪くなってきている。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が50.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は50.0%、
悪化したと回答した事業所は0.0%、
変わらないと回答した事業所は50.0%だった。

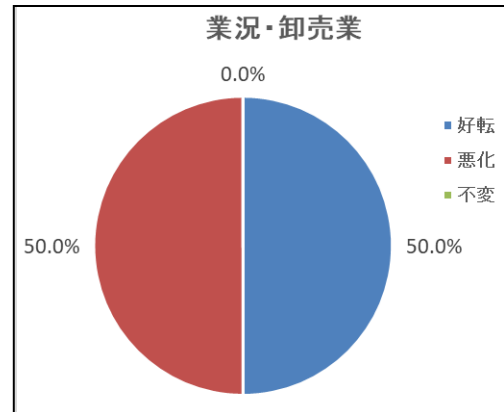


来期見通しのD I 値は、50.0ポイントで、好転の見通しとなっている。

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は50.0%、
悪化したと回答した事業所が50.0%、
変わらないと回答した事業所0.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲25.0ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【建築設備資材卸業】

・「売上は増加となっているが、仕入価格の上昇による売り上げ単価増加分であり、厳しい状況である。」

【事務用品・機器販売業】

・「繁忙期の時期だか、前年ほど売上が伸びず。仕入価格は上昇しているので、資金繰りは悪化した。」

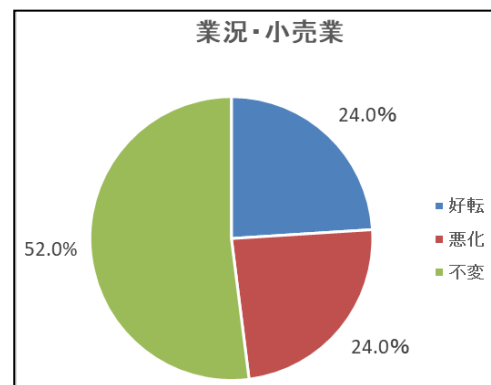
【食料品卸売業】

・「飲食店等の廃業があり、売上がもう一段階伸びない。」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は24.0%、
悪化したと回答した事業所は24.0%、
変わらないと回答した事業所は52.0%だった。

来期の見通しD I 値は、4.0ポイントで、
好転の見通しとなっている。



○主な意見

【菓子製造及び販売業】

・「今後の見通しとして代表者の高齢化や売上の伸長が望めない状況を踏まえて、何らかのてこ入れや課題解決が必要だと感じている。」

【寝具小売業】

・「コロナが明けて、売上は増加しているものの、資金繰りは悪化。」

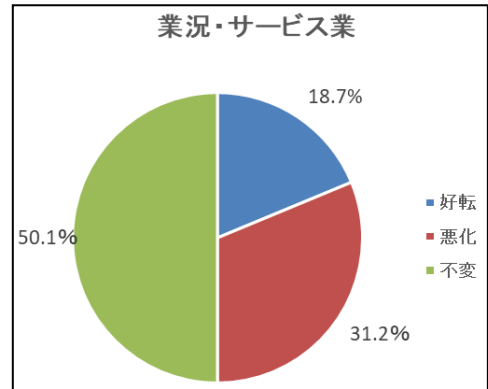
【飲食業】

・「昨年は、コロナ関連の給付金でどうにか凌いだだが、今年は原材料高騰でかなり厳しい。」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲12.5ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は18.7%、
悪化したと回答した事業所は31.2%、
変わらないと回答した事業所は50.1%だった。

来期見通しD I 値は、▲6.3ポイントで、悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【自動車整備業】

- ・「売上はさほど変わらないが、部品等の仕入れの高騰、光熱費・保険料の値上げなどにより、採算は悪化している。」

【リハビリサロン業】

- ・「1人で事業活動を行っている為、予約システム導入等を検討する必要がある。」

【美容業】

- ・「物価高騰で仕入れ金額もあがっているが長年のお客様に負担をかけないようにコスト面を改良して仕入れ先と仕入れ金額、品物の見直しを改めて行うようにした。お客様への割引サービスを変動してお店にかかる負担を減らすようにした。」

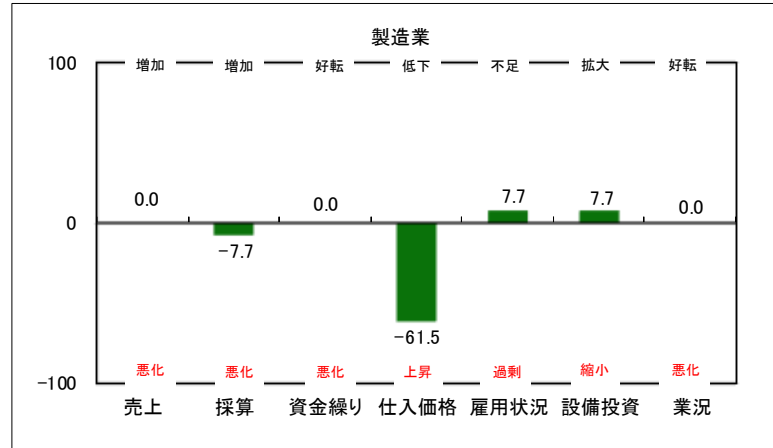
【専門サービス業】

- ・「アフターコロナを意識した経営方針を打ち出した事でこれからの巻き返しを出来る状況であり、全社一丸体制で構築して生き残りをかけて行きたいと思っている。」

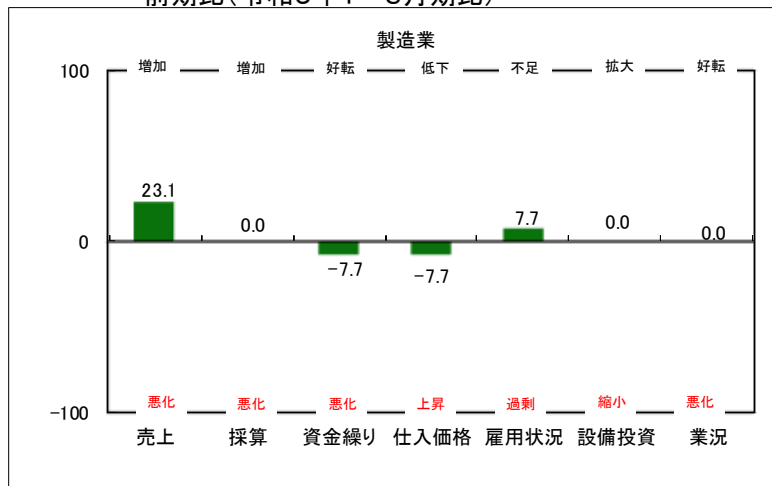
業種別景気動向

製造業

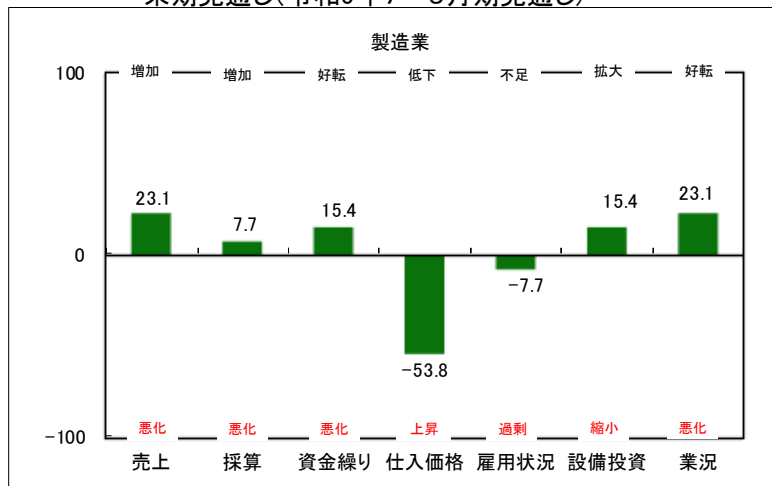
前年同期比(令和4年4～6月期比)



前期比(令和5年1～3月期比)



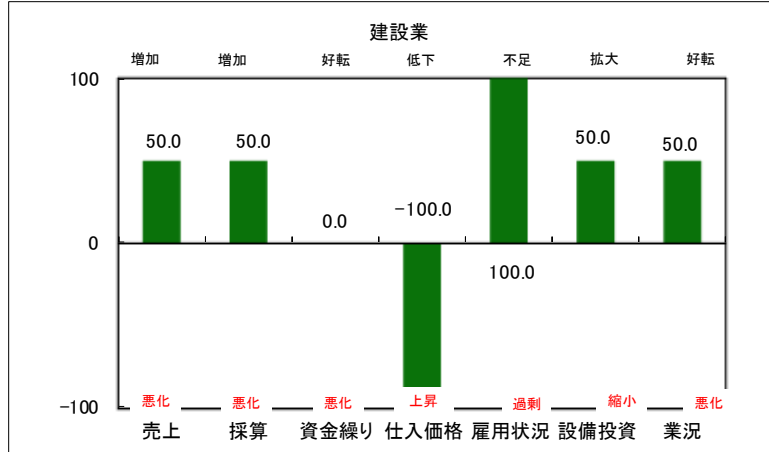
来期見通し(令和5年7～9月期見通し)



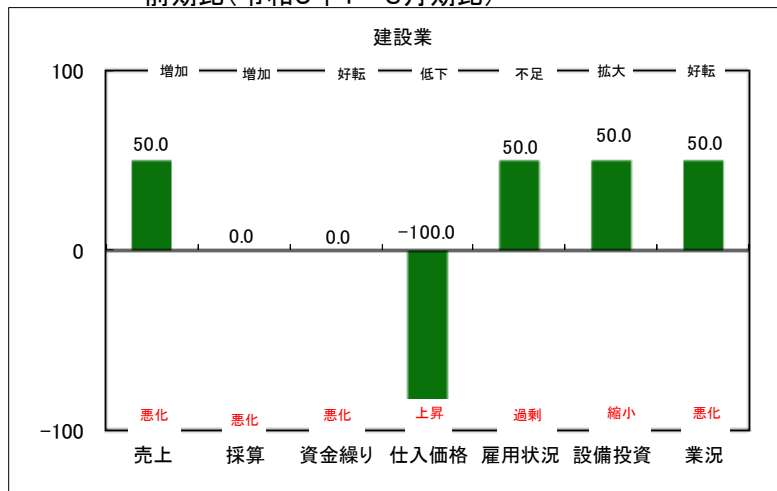
業種別景気動向

建設業

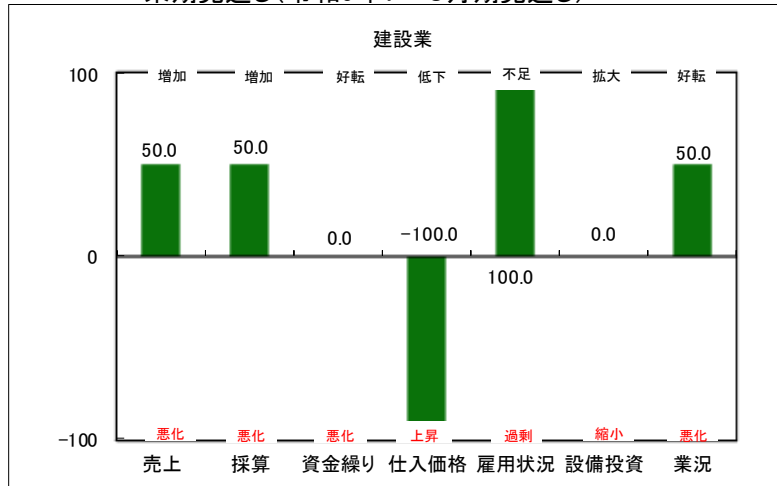
前年同期比(令和4年4～6月期比)



前期比(令和5年1～3月期比)



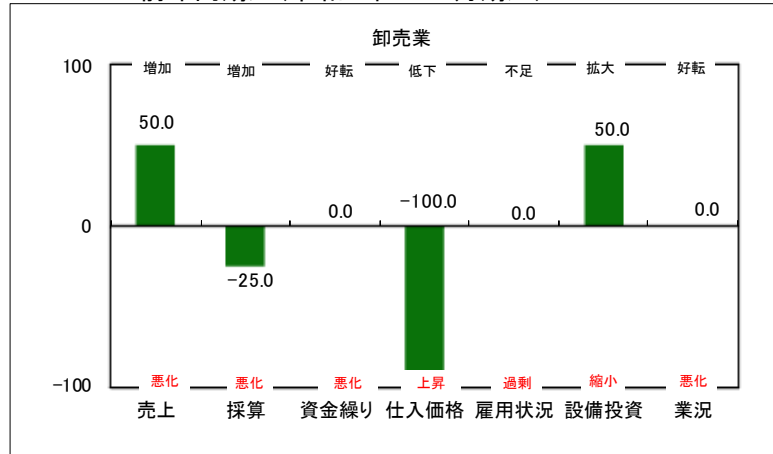
来期見通し(令和5年7～9月期見通し)



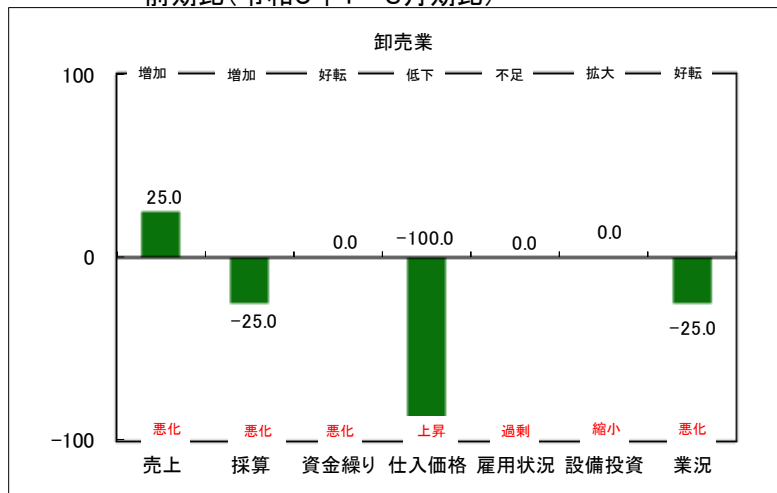
業種別景気動向

卸売業

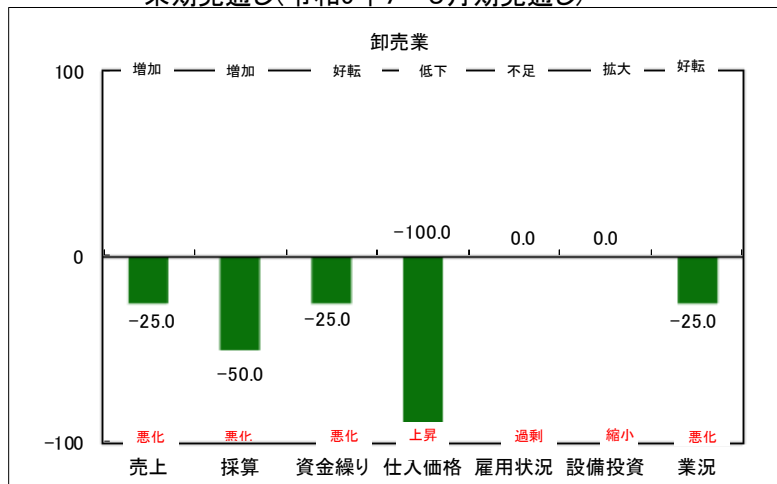
前年同期比(令和4年4～6月期比)



前期比(令和5年1～3月期比)



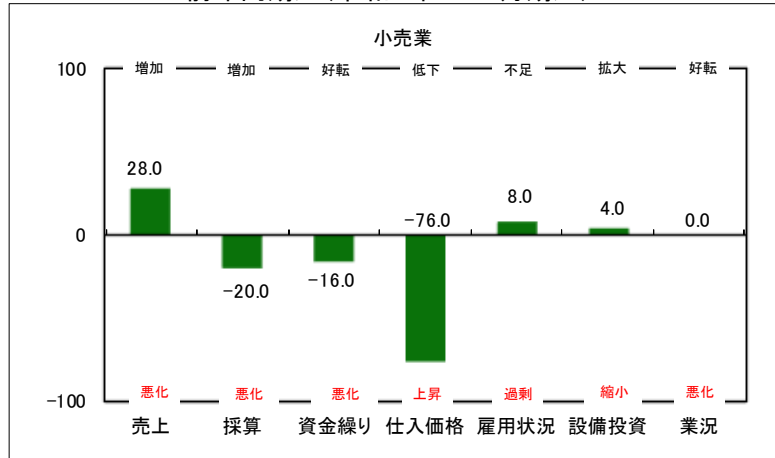
来期見通し(令和5年7～9月期見通し)



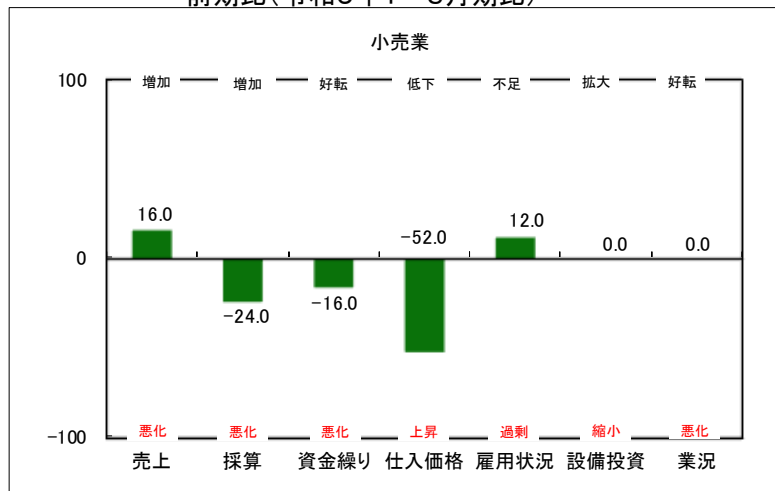
業種別景気動向

小売業

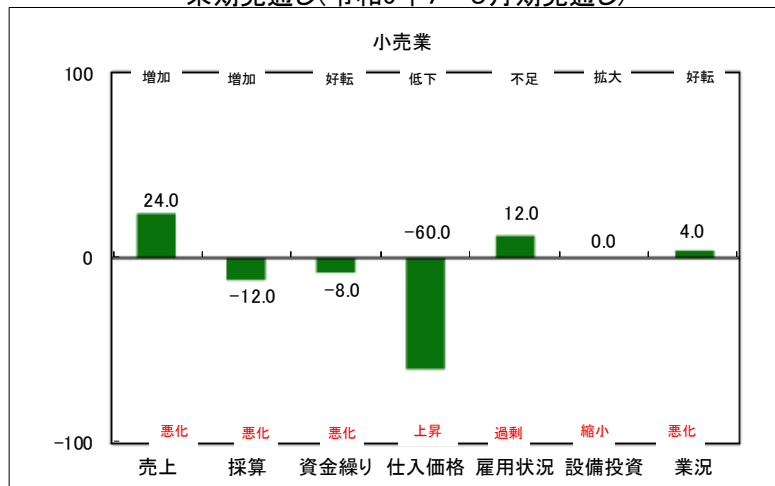
前年同期比(令和4年4～6月期比)



前期比(令和5年1～3月期比)



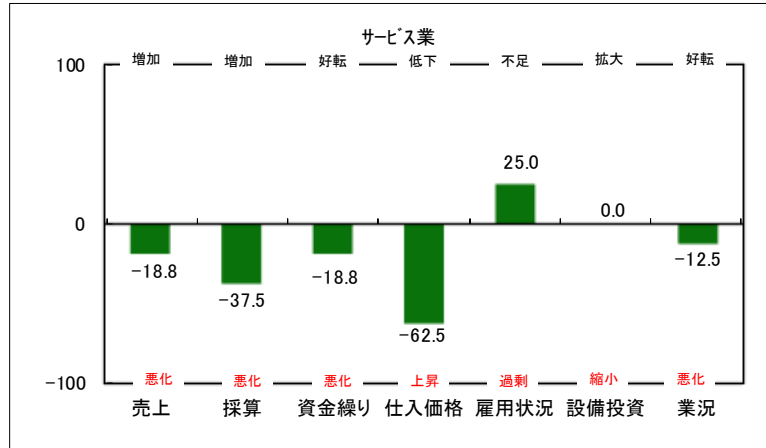
来期見通し(令和5年7～9月期見通し)



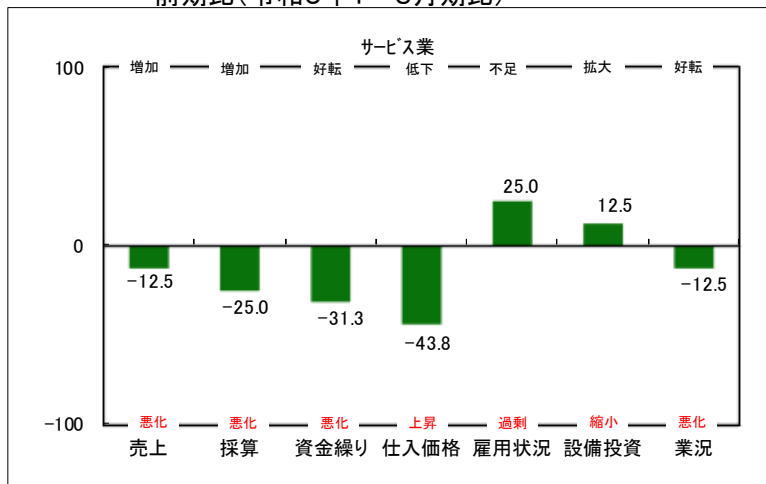
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和4年4～6月期比)



前期比(令和5年1～3月期比)



来期見通し(令和5年7～9月期見通し)

